

2 上水道事業運営

■ 上水道事業の現状・課題 ■

近年、上水道事業を取り巻く社会情勢や経営環境は大きく変化しております。

給水人口については、これまで増加傾向にありましたが、将来的には減少に転ずると予想されており、給水収益の増加が望めない状況にあります。

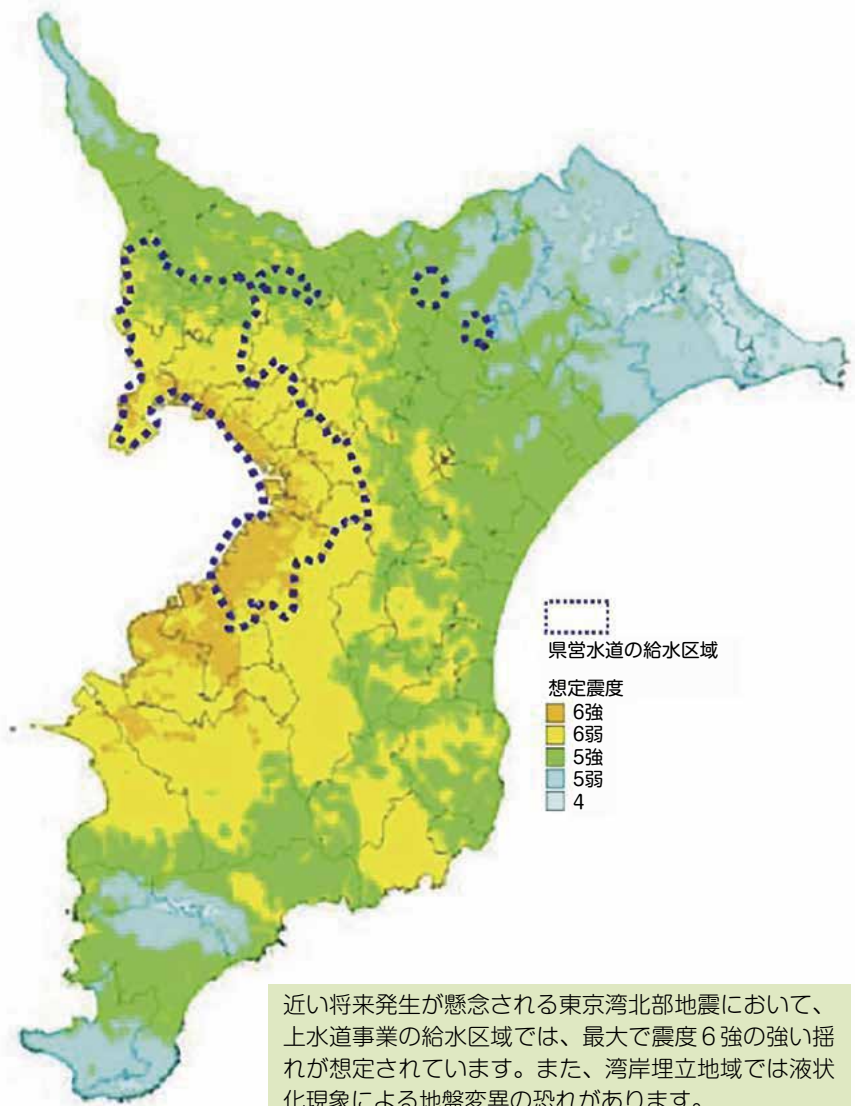
一方、水道施設の老朽化は今後急速に進んでいくことから、安定給水の確保のため、計画的に更新を行う必要があります。加えて、東日本大震災の教訓から、近い将来に発生が懸念される地震等に備え、更新と併せて引き続き耐震化を推進する必要があります。

また、渇水や水質事故の発生により、安定水源の確保と高度浄水処理の重要性が認識されているほか、近年、地震や台風に代表される自然災害は激甚化の様相を見せており、危機管理対策の更なる充実を図る必要があります。

お客様サービスの面では、今後、より一層、お客様に県営水道の利用の御満足をいただくため、ICTを積極的に導入して、各種手続き等の利便性の向上を進めていくことが必要です。また、運営基盤の面では、ベテラン職員の退職に伴う積極的な新規採用を行っており、若手職員が増加する中で、人材の育成と技術の継承がますます重要となっています。さらに、施設の更新及び耐震化に多額の費用が掛かり、今後もこの傾向は続く見込まれるため、厳しい経営状況となることから、計画的な事業運営により、健全経営を確保していく必要があります。



東日本大震災での給水車による応急給水



東京湾北部地震における想定震度分布

長期施設整備方針及び 水道事業中期経営計画

このような課題に対処し、水道施設の確実かつ継続的な更新・整備を進めるため、30年間の施設整備の基本的な考え方を示した「千葉県営水道事業長期施設整備方針」を策定しました。この方針では、将来の水道施設の再構築を視野に入れ、重要度、老朽度及び耐震化の必要性等を考慮しつつ、局独自で施設毎に設定した目標使用年数に基づき、水道施設の更新・整備を計画的に実施していくこととしています。

この方針に基づく更新・整備について5年間分の具体的な取組を盛り込んだのが、令和3年3月に策定した、当局の水道事業経営に関する基本計画であり、水道事業を運営する上での実施計画ともなる「千葉県営水道事業中期経営計画」です。

この計画は、平成18年度から5年ごとに策定している中期経営計画の推進により得られた成果を引き継ぎ、さらに発展させていくことを目的としています。具体的には、水道事業を運営する上での目指す方向性として、基本理念「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」を設定し、この基本理念の実現に向けて、3つの基本目標「『強靱』な水道の構築」「『安全』な水の供給」「お客様からの『信頼』の確保」を掲げ、必要な施策や取組を体系化しています。

「『強靱』な水道の構築」では、激甚化・多様化する災害に備え、水道施設の計画的な更新・災害対策と危機管理体制



水質検査の様子

の強化を進めます。

「『安全』な水の供給」では、水源水質に対応した的確な浄水処理により、安全でおいしい水の供給に取り組みます。

「お客様からの『信頼』の確保」では、お客様からの理解のもと、地球環境にも配慮し、将来を見据えた健全な事業運営を行います。

この計画に基づき、健全経営の確保に取り組みつつ、地震や台風などの自然災害の経験を踏まえた危機管理の充実を図るなど、いつでも安全でおいしい水をお届けすることで、お客様からのさらなる信頼を得られるように努めてまいります。



ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業

老朽化した栗山浄水場（左図）の機能を、ちば野菊の里浄水場（右図）に移転するとともに高度浄水処理を導入しました。（令和6年3月稼働）



「千葉県営水道事業中期経営計画」 (令和3～7年度)の基本目標と主要施策

基本目標1 「強靱」な水道の構築

- (1) 安定給水の確保
浄・給水場等や管路の更新・整備
- (2) 災害に強い施設整備の推進
浄・給水場等や管路の耐震化の推進、
停電・浸水対策等の強化
- (3) 危機管理体制の充実
緊急時に備えた体制の充実等

基本目標2 「安全」な水の供給

- (4) 安全で安心な水づくり
水源の監視・保全、高度浄水処理の導入等
- (5) おいしい水の供給
おいしい水の技術的な取組、
おいしい水のお客様との取組

基本目標3 お客様からの「信頼」の確保

- (6) お客様サービスの向上
支払い方法の多様化や手続き等の
オンライン化等
- (7) 大規模事業体の責務と社会貢献
環境負荷の低減に向けた取組等
- (8) 運営基盤の強化
職員の育成・確保及び能力開発、
健全経営の推進等



管路の整備



オゾン処理の様子

においやトリハロメタンなどの原因となる有機物をオゾンの酸化力で分解し、その後の活性炭処理で除去します。



太陽光発電設備（ちば野菊の里浄水場）